

大阪学院大学国際学部 国際学科 (海外留学プログラム)

国際学部では、「体験型学修」の一環として、学生全員を対象にした「海外留学プログラム」を独自に開設しています。本プログラムは、基本的に2年次の夏期休暇中から後期授業期間にかけて、約4か月のプログラムが予定されています。平成30年(2018年)度は海外提携校の中から5つの大学を留学先として予定しています。英語圏ではハワイとニュージーランドおよびカナダ、アジア圏では韓国と台湾です。

***平成30年度 海外留学プログラム学修内容 (予定)**

留学先	授 業	学外でのアクティビティ
ハワイ大学 マウイカレッジ	ESL：18時間/週 英語（ライティング、リーディング、発音クラスなど）、英語によるハワイ研究・フィルム研究など	マウイの自然を満喫する フィールドトリップ
SEL C バンクーバー	ESL：25時間/週 英語（単語・文法・会話・リーディング・ライティング・リスニングなど）	ロッキーマウンテン、ビクトリア、シアトルへの小旅行 ボウリング、ヨガ、バトミントンなどのスポーツ体験、近郊の人気スポットへの観光ツアーなど
ワイカト大学	ESL：23時間/週 アカデミック英語コース 一般英語（General English）コース レベル別多国籍クラス	現地でのオプションにて可能なもの（別途料金： ロトルア観光、ホビトン村、ワイトモ洞窟など）
ペジェ大学	韓国語：20時間/週 会話・文法、読解・作文、聴解	Everland 訪問、全州の韓屋（ハンオク）村訪問、公州博物館訪問、焼き物作りなど
静宜大学	中国語 (初級・中級・上級)：最低15時間/週	学期の終わりに開催 ※実施内容は未定

※ESL(English as a Second Language)……英語を母語としない人が第二言語として英語を学ぶクラス。

*留学準備のための科目

留学生生活を充実したものにするためには、一定レベルの語学（英語）力と基礎的な教養が必要となります。そこで、国際学部では1年次から2年次前期にかけて、留学基準を満たすとともに、より良い留学生活が送れるだけの実力を付けてもらうことをねらいとした、留学準備のための科目を開講しています。

(1)語学力強化のための授業

- 共通科目：「英語A～D」「実践英語」（または「韓国語」「中国語）」
- 専攻科目：「実力強化英語 I・II・III・IV」

(2)留学を目指しての異文化理解の基礎知識習得と TOEIC 練習のための授業

- 専攻科目：「留学支援特別講義 I・II・III」

(3)留学先での日本文化紹介のための授業

- 専攻科目：「現代課題III」

書道や茶道等日本の伝統的な文化について、実技を学ぶとともにその内容を海外の人たちに英語で紹介できるようにすることを目的とした授業（定員10名程度）。

(4)留学生活の基礎的な知識およびトラブル対処法を身につけるための授業

- 専攻科目：「留学支援特別講義III」、「ゼミナールII A」

※)下線付きの科目は2年生担当。

*留学から帰国後（2年次生後期）の授業について

「スタディーアブロード I・II・III・IV（それぞれ4単位、合計16単位）」「フィールドワーク（2単位）」「ゼミナールII B（2単位）」「実践課題研究 I（2単位）」が履修登録されているので、それぞれの担当教員から事後指導を受け、成績評価をもらうこととなります。最大で22単位まで認定されます。成績評価は、留学先での評価と事後指導を総合して判断されますので、帰国後の事後指導をおろそかにすると不合格となります。

*学費減免について

海外留学プログラムにおける留学中の本学学費（授業料+施設設備費）を全額免除。
ただし、在籍料（13万円）と諸会費（半期6,000円）を納入しなければなりません。

*平成30年度 海外留学プログラム費用・日程（予定）

大学	滞在日程 期間	宿泊	授業関連 経費	宿 泊 費	渡航費概算 航空券代	合 計
ハワイ大学 マウイカレ ッジ (ハワイ)	8月11日～ 12月15日	ホーム ステイ	493,149円 (USD 4,434)	645,076円 (USD 5,800)	301,380円	1,439,605円
SEL C バンクーバ ー (カナダ)	8月11日～ 12月1日	ホーム ステイ	787,035円 (CAD 9,438)		326,580円	1,113,615円
ワイカト大 学 (ニュージー ランド)	8月4日～ 11月4 日	ホーム ステイ	917,340円 (NZD 10,827)		206,800円	1,124,140円
ペジエ大学 (韓国)	8月23日～ 12月17日	学生寮	400,392円 (USD 3,600)		79,880円	480,272円
静宜大学 (台湾)	9月1日～ 12月26日	学生寮	130,799円 (NTD 35,640)	51,967円 (NTD 14,16 0)	83,780円	266,546円

注1) 全てのプログラムにおいて、海外旅行保険、生活関連費（食費、現地交通費等）等が別途必要になります。

注2) マウイ大学・ワイカト大学・SEL Cのホームステイ費には食費が含まれます。

注3) 為替レートはUSD=JPY 111.22円、CAD=JPY 83.39円、NZD=JPY 83.81円、NTD=JPY3.67円（平成30年3月24日現在）で計算。

注4) 合計金額には海外送金手数料が含まれていません。

注5) 上記の日程は平成30年4月3日現在での予定です。現地事情により変更の可能性があります。

*派遣実績（H30は予定）

	New Zealand	Hawaii	Canada	Korea	Taiwan	計
H26	4	6	8	6	0	24
H27	4	0	9	4	2	19
H28	5	6	2	2	3	18
H29	1	1	2	1	3	9
H30	3	1	11	3	3	21

*学生の感想

N.K.さん（カナダ） 臆病で引っ込みがちではダメ

私は、カナダ留学中に多くの友人を作ることができた。その国籍も、日本、韓国、チリ、ブラジル、スペインなど様々である。その友人たちと共に過ごしていく中で、如何に日本人が臆病で引っ込みがちなのか思い知らされた。まず、授業中である。日本人は自分から積極的に発言しないが、他の国の人たちは先生の話や先生の話を遮ってまでしっかりと発言する。次に、話し方である。もちろん、日本人以外の友達と話すときは、すべて英語での会話である。日本人は完璧な文法を求めて話すため、話している途中で止まってしまう、言いたいことを言えない、という場面が多く見られた。一方で、他の国の人たちは、文法がどれほど間違っている、単語と単語を繋げて、しっかりと自分の言いたいことを発言し、会話の主導権を握る。このように、日本人とそれ以外で大きく差がわかってしまうほどだった。

最初は私も話せなかったのだが、他の国の友達を見て、私もたくさん話せるようになりたいと思うようになり、自分から積極的に発言するようになった。そうすると言いたいことを言えずにいるより、輝かしいほど楽しいと感じた。それを踏まえ、私は、自分に自信を持ち、積極的に自分から行動していくことが大事だと思った。

K.K.さん（カナダ） つらい時差やホームシックを克服

私が、この留学で一番つらかったことが、カナダについてからの最初の3日間である。

カナダに着き、ホームステイ先に着いた。ホストマザーとファーザーが迎え入れてくれて、家のルールや、近くの施設などの情報を教えてくれた。その後、ホストファミリーは出掛け、私は荷ほどきなどをした。

カナダは日本との時差が18時間あり、フライトの疲れもあったので、仮眠をとった。目が覚めると夜中で、時差ボケがひどく感じられた。友達と話したり、外を歩いたりしたかったけれど出来ず、日本の家族と電話をした。電話をすると、本当に日本に帰りたい気持ちになると同時に、これからの留学生活が不安に思った。

不安な気持ちが変わったのは、学校に行き始めたころである。友達ができ、日本人や外国人と話していくうちに、考え方が変わり、楽しめるようになった。本当に、人生で一番つらかったけれど、一番良い経験になった。日本から親元を離れ、異国で生活するしんどさがよくわかった。

H.M さん（台湾） ルームメイトとのコミュニケーションのむずかしさ

留学中しんどかったかことは、相手との意思疎通ができなかったことである。一番それを感じたのが寮生活だった。私のルームメイトは二人ともが台湾人だった。最初の頃はルームメイトに対して、自分の言いたいことや少し不満もあったため、彼女たちに伝えると、誤った解釈をされて険悪な雰囲気になってしまった。普段日本人と話す時は当たり前のよう意思疎通ができるが、こういった経験がはじめてだったため、改めてコミュニケーションがいかにか大変かということが分かった。私は、それをどうやって乗り越えられたか。たわいもない事などを話してみたり、中国語で分からない事を教えてもらうなど、私は積極的に中国語で会話するようにし、そうしていくうちに何を話しているかは大体分かるようになっていき、言葉の壁というものを乗り越えていけた気がする。

K.K さん（韓国） 一人でやっていけるか不安だった

私は旅行では韓国へ何回か行ったことはあるが留学は初めてだった。旅行でもソウルしか行ったことがなくテジョンという都市へ行くのも初めてだった。留学するまでテジョンという都市を知らなかった。学部留学で韓国に行くのは私一人だけでうまくやっていけるかとても不安だったのを覚えている。

学校初日、まず留学生は皆クラス分けテストを受けた。そのあと先生の紹介や学校の説明などを受けて一日目はそれで終了した。クラスは3つある。私は中級のクラスだった。私のクラスは15人ほどで日本人が私を入れて二人で、カザフスタンとロシアとインドから一人ずつ、あとの10人は中国人だった。授業初日はクラスで中国語が飛び交っていたが英語も飛び交い面白かった。席替えが何回もあったのでいろんな人と沢山コミュニケーションがとれた。初めて外国人の友達ができてとても嬉しかった。